

高知県事業者防災推進協議会 第9回会議要旨

1. 日時 令和3年11月22日(木) 15:00～17:00

2. 場所 高知共済会館 3階 藤

3. 出席者 別添のとおり

4. 次第 別添のとおり

5. 概要

- ・事務局から、＜資料1＞調査結果まとめ、＜資料2＞事業者の防災対策についてのアンケート調査結果概要版について説明を行った。
- ・県各部から、＜資料3＞各部の取組内容に沿って、これまでの取り組みと来年度以降の取り組みについて発表を行った。
- ・各団体から各業界の動きや共有すべき取り組みの発表を行い、アンケート調査結果や各部局の取り組みを踏まえての情報交換を行った。
- ・災害時は金融機関も停滞、被害を受けることになるので、BCPの作成支援を金融機関に依頼してはどうかとの意見が出された。
- ・高知県の一般予算から医療界の電子カルテを守るようなことはできないかとの意見が出された。
- ・高知県各部局でのBCPの制度や取り組みの違いを整理して、建設業BCPのように、県が認定し、お墨付きをつけるなど統一してはどうかとの意見が出された。
- ・認定制度は日がたつと強制的にやらされている感や疲労感が出てくるので、制度の見直しなども検討してはどうかとの意見が出された。
- ・この会議について3年に1度の開催ではなく、開催頻度を多くするもしくは、情報提供するなど検討してはどうかとの意見が出された。
- ・BCPについて、業界毎にマニュアルやひな型は基本的にあるが、それだけでは策定は進まないため、事業者や地域によって状況が異なるため、それに応じた支援のあり方や取り組みのあり方を検討してはどうかとの意見が出された。
- ・小規模事業者がBCP策定に苦慮されているように見えるが、基本的な項目を質問して回答してもらっただけでも事業継続力は見えると思われるため、小規模事業者に対してはBCPの作成ではなくアンケートに回答してもらってはどうかとの意見が出された。
- ・サプライチェーンが途絶えると、事業継続が立ち行かなくなるので、協力会社のBCP作成に協力し進めていくことは重要であるとの意見が出された。
- ・次回の会議については、年に1回程度、何らかの方法により開催ができるような方向で検討することとした。